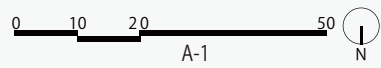
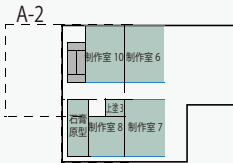


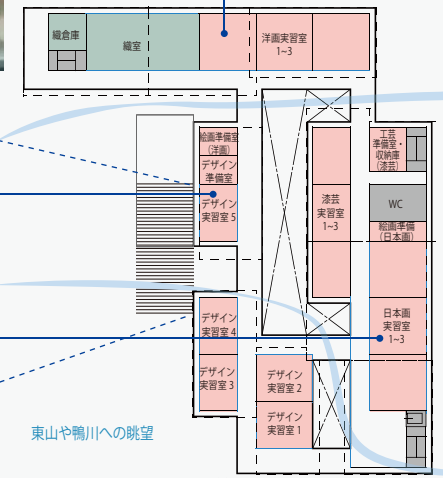
銅駝美工 新校舎 4F



染織の制作室採光、通風が確保できるように配慮



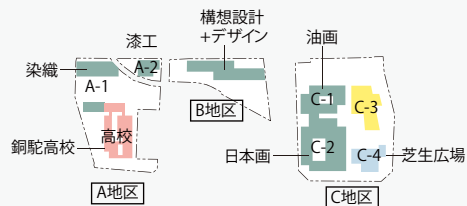
グラウンド越しに活動が見える
 ◀ 鴨川の土手とA地区が川床フロアにより水平につながる
 グラウンドを見下ろす教室



見晴らしのよい実習室

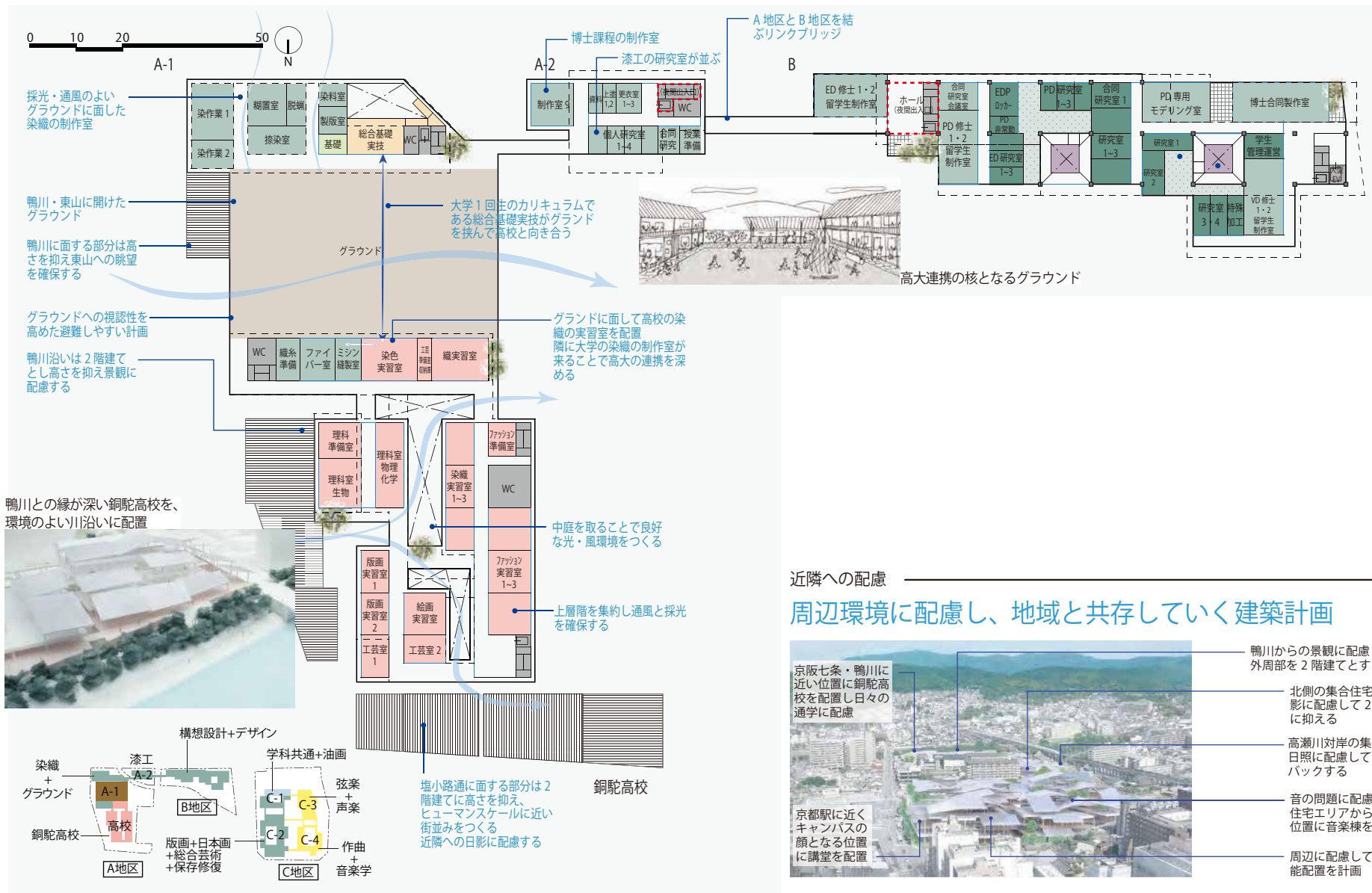
最上階の最も光環境のよい場所に絵画系の教室を配置

東山や鴨川への眺望



点状する坪庭が光と風を導く銅駝高校

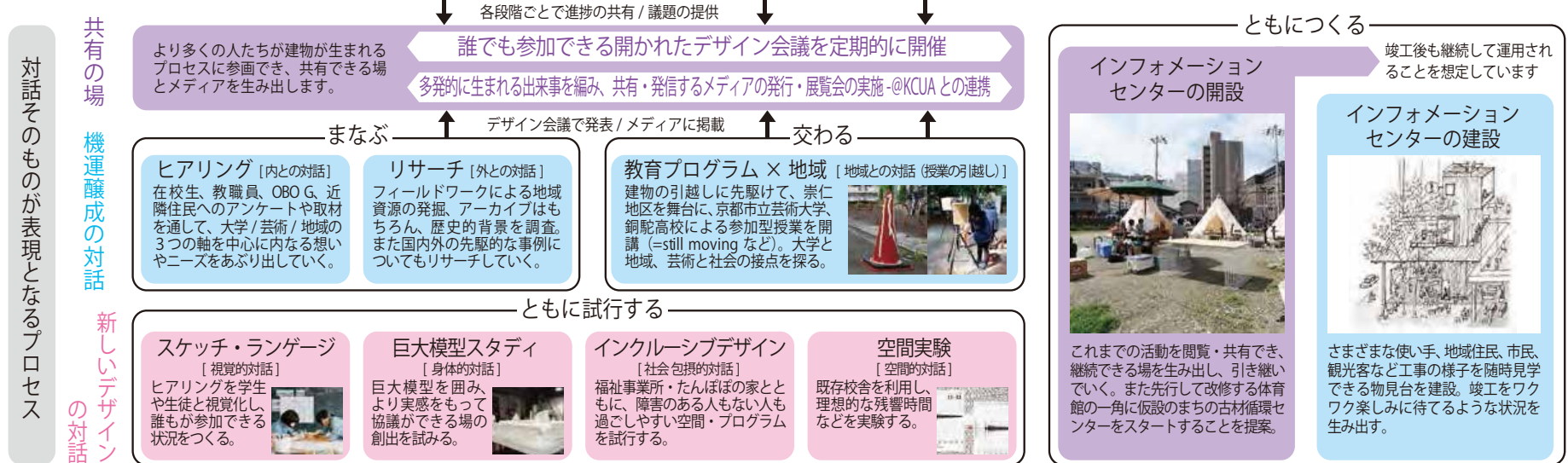
銅駝美工 新校舎 3F



丁寧に管理される設計スケジュールと併走して、多様なデザインやアーカイブの対話を循環

※ グレー部分は今回の設計業務には含まれません

	2017		2018		2019		2020		2021		
	3	9	3	9	3	9	3	9	3	9	
基本スケジュール	設計	基本設計				実施設計				入札	
	工事									解体工事	
関係機関協議	市府その他	各種設計定例会議を定期的実施									
関係者対話		各使い手へのヒアリング、検討会の実施				体験型 WS					
設計		※詳細は第5号様式①II：進め方を参照								工事監理	



*京都市立芸術大学の授業やプロジェクト [still moving、状況のアーキテクチャーなど]、@KCUA、銅駝 高校、地域活動団体が持つリソースや既存のプログラムと連携して、プロジェクトチームを構成し、「ともにつくるプロセス」を実現します。

対話そのものが表現となるプロセス

共有の場

機運醸成の対話

新しいデザインの対話